

次の文章を読んで、後の問一〜八に答えなさい。

逆接

歩くの定義

生物としてのヒトの第一の特徴は二足歩行だと言われる。 X 実は、二本足で立っていたら移動はできないのだ。クマやトラなど四本足の動物の歩行を観察すればよくわかるが、四本柱で立っていたらこの上なく安定していて移動は不可能である。前足二本のうち一本に体重をかけ、あとの一本が肩からぶら下がってはじめて自由になって前へ振り出すことができるようになる。人間の足も同じことで、安定を崩さなくては前進はできぬ。つまりヒトは一本足で立つ動物なのである。重さは常に一本の足にかかり、一方の足が腰からぶら下がり、それが振り出され、着地すると、そこへ体重が移ってゆく。 ①「これが歩くと言うことだ。」

これを、ヒトの歩き方の基本型だとすると、これは日本国内ではめつたに見ることができない。私が見たこの型のもつとも美しい歩きはインドの人たちのそれであった。ガンガー河中流の釈迦成道の地ブッダガヤあたりの農村では亭々たるキョボクが並木を作る街道を、いったい何キロメートルを歩いてくるのか、人々がゆったりしたリズムで、ときれもなく続いて来るのだが、その一人一人が実にみごとに美しい。 ②これについて私は別に書いたのだが、浅黒い肌ガラ物のワイシャツに細身のスポンの男たちは、まるで杉の若木のようにまっすぐ上に伸びている。スタニスラフスキーは『俳優修業』の第二部で歩き方について書き、一日中広場で観察していて、十二、三歳の少女の歩き方を見つけ、これこそ理想だと喜ぶエピソードを記しているが、なるほどこれなのか、と私は目を見張った。 ③実のところ、初めてこれを読んだまだ二十歳台の私は街やら学校やらで、憧れも手伝って、随分見て廻ったものだが、さっぱりナットクのいく歩きにお目にかからなかった記憶がある。

言い換え

これに比べると日本人の歩き方はまるで違う。インドの、そしてヨーロッパやアフリカの人々の場合、足と言えば、腰から下全部が一つに連なって動く。 Y 足とは腰から下全部で、その上にちょこんと胸が乗っている。ところが日本人はやや膝を曲げ腰を落として、股関節から下だけを交互に前へ振り出して歩く。こちらの足は長い胴体の下についてたちょうビルの水かきと同じ形である。これは本質的にシユリョウ民族と水田耕作民族の身の支え方の違いであらう。前者において生活の基本はけものを追って走ることであり、歩くとはいわばゆつくり走ることには他ならないのに、後者においては、重いものを支えて泥沼を、腰を水平に保ちつつ足をひきぬきひきぬき歩くことが基本になる、と、しよう。 ④すれば、走るという動作は生活に必要な。 Z 日本の武術には基本的に「走る」ことはない。忍者の動作に見られるように、「走る」とはただ、速く歩くことに他ならない。

順接

宮本武蔵の『五輪書』には、③かかるとに重さをかけ、爪先は軽く浮かす、と教えてある。 ⑤すぐ気づくようにこれは能の足の運びの基本と全く同じである。からだは低く沈み、すり足で動き、足跡は二本の線の上を辿るこの形と、インドの人々の爪先で地を蹴って前進する姿とは、ヒトの歩き方の

二典型と言つてよいであらうか。(中略)

中井正一の『美学入門』風に言えば、日本人の足はギリシヤの神殿の柱の(注)エンタシスのように運命の重さを支え耐える形であり、インドやヨーロッパの人々のそれはゴシック建築の如く天に向かって伸び上がるようとしている、ということになるうか。日本の近代劇の俳優にとって、いかなる腰の保ち方によって、舞台に美しく安定した、しかも「生きた足」を生み出せるか、は容易なことではない。私の目には、タルコフスキーの映画『サクリファイス』の中で初老の主人公がカメラに向かってまっすぐに歩み寄り歩み去る足の美しさと、もう一方、能のシテの白足袋の運びの冴えとが二重映しになる。

日本の武術はもちろん裸足が原則である。履くとしても足袋か、あるいは足半(あしなか。かかとの部分はない草履)である。裸足の足の裏の感覚がひたと大地をとらえ、大地に應え、はずむこと。そのためには足の裏と足の指全部でしかと土をつかむことが、まずは必須のことになる。土をつかみ、放し、土に寄りそい、つき返され、爪先が吸い寄せられかかとが拮抗しあい、一刻ごとに受け応えがはずむ時、土と生きている足の裏の対話は、やがて全身にひろがって踊りとまでなるのである。

竹内敏晴「思想する「からだ」」

(注) エンタシス——柱のほぼ中央につけたふくらみ。

問一 傍線部ア、イ、ウの漢字と同じ漢字を用いるものを、次の各群の選択肢から、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号はアが

11

12

13

巨木

ア キヨボク

- Ⓐ キヨシンに耳を傾ける 虚心
- Ⓑ キヨドウ不審な人物 挙動
- Ⓒ キョトウ 会談を行う 巨頭
- Ⓓ 面会をキョゼツする 拒絶
- Ⓔ 胸にキョライする思い 去来

柄

イ ガラ

- Ⓐ ゴヘイがある表現に気づく 語弊
- Ⓑ 今年はカラツユの予報だ 空梅雨
- Ⓒ カラヨウの家を建てる 唐様
- Ⓓ ヘイコウして走る 並行
- Ⓔ オウヘイな態度をとる 横柄

狩猟

ウ シュリヨウ

- Ⓐ リヨウケン を訓練する 猟犬
- Ⓑ タイリヨウに生産する 大量
- Ⓒ ホンリヨウを發揮する 本領
- Ⓓ サイリヨウの友を得る 裁量
- Ⓔ リヨウキョクに分かれる 両極

問二 文中の空欄部

X

Y

Z

欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

14

には接続詞が入る。入る接続詞を正しく組み合わせたものを次の選択肢から一つ選び、解答

- Ⓐ X つまり Y そして Z だが
- Ⓑ X だが Y だから Z つまり
- Ⓒ X そして Y また Z だから
- Ⓓ X だが Y つまり Z だが
- Ⓔ X だから Y そして Z つまり

問三 本文からは、「これが歩くと言うことだ。」という一文が抜き出されている。どこに戻したらよいか。最も適切な箇所を、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

15。

- ㊦ I
- ㊧ II
- ㊨ III
- ㊩ IV
- ㊪ V

私は街やら学校やらで、随分見て廻まわったものだが、さっぱりナットクのいく歩きにお目にかからなかった

問四 傍線部Aの「日本国内ではめつたに見ることができない」のはなぜか。筆者が考えている理由に最も近いものを次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

16。

その理由

- ㊦ 二十歳の時に街やら学校やらで随分見て廻ったが、ナットクのいく歩きにお目にかからなかったから。
- ㊧ 日本人は、やや膝を曲げ腰を落として、股関節から下だけを交互に前へ振り出して歩くから。
- ㊨ インドやヨーロッパやアフリカの人にとって歩くことはゆっくり走ることだが、日本人にとってはそうではないから。
- ㊩ 日本国内では、農村のあたりでもゆつたりしたりリズムで、土と対話しながら裸足で歩く人は少ないから。
- ㊪ 日本人はインドやヨーロッパやアフリカの人よりも、足がアヒルの水かきのように短いから。

問五 傍線部Bの「これ」とは何を指しているか。最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

17。

- ㊦ 十二、三歳ごろの少女の歩き方
- ㊧ 腰から下全部が一つに連なって動く足
- ㊨ 浅黒い肌にガラ物のワイシャツに細身のズボンの男たち
- ㊩ インドのブツダガヤあたりの農村で見た人々の歩き方
- ㊪ スタニスラフスキーの『俳優修業』の第二部

日本人の「からだは低く沈み、すり足で動き、足跡は二本の線の上を辿るこの形と、インドの人々の爪先で地を蹴って前進する姿はヒトの歩き方の二一典型」

問六 傍線部C「容易なことではない」のはなぜか。その説明として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。

解答番号は、18。

- (a) 舞台の上は堅く、足を引き抜きながら歩く感覚は得にくいので。
- (b) 舞台の上では、足の裏と足の指全部でしかと土をつかむことができないため。
- (c) 能のような日本の伝統芸能における足の運びは、近代劇に要請される腰の保ち方と相容れないから。**
- (d) 日本人の足はギリシャ神殿の柱のエンタシスのように運命の重さを支えているから。
- (e) 近代劇はヨーロッパから発生しており、日本人が演ずるのは難しいので。

問七 傍線部D「かかとが拮抗しあい」とはどのようなことか。その説明として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。

解答番号は、19。

- (a) 裸足の足のかかどで土を踏みしめ反動を味わうこと。**
- (b) 跳び上がったときに両足のかかどを空中でたたき合わせるこ
- (c) 足の裏の感覚が裸足であることで敏感になってくるこ
- (d) 爪先立ちになり、かかとを高く引き上げること。
- (e) 重心を下げて、かかとを上げずすり足で歩くこ

問八 次の①～⑤のうち、日本人の歩き方について説明したものに○を、そうでないものに×をつけ、正しく組み合わせたものを次の選択肢から一つ

選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

20

① 爪先で地を蹴って前進する。

② 腰を水平に保ちつつ足をひきぬきひきぬき歩く。

③ かかとに重さをかけ、爪先は軽く浮かす。

④ 一方の足が腰からぶら下がり、振り出され着地する。

⑤ 天に向かって伸び上がろうとする。

	e	d	c	b	a
①	×	○	×	×	○
②	○	×	×	○	○
③	○	×	○	×	×
④	×	○	×	×	○
⑤	×	×	○	○	×